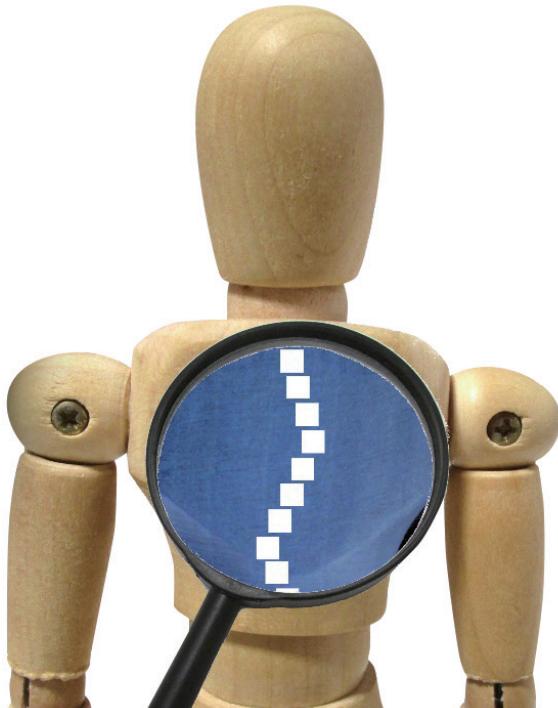


せき ちゅう そく わん しょう  
脊柱側弯症ってどんな病気？

せき ちゅう そく わん しょう  
**脊柱側弯症**  
ってどんな病気？



横浜市立脳卒中・神経脊椎センター

# 専門医による早期診断、 早期治療が大切です。

## 脊柱側弯症

背骨が左右に曲がり、さらにねじれが伴う病気です。側弯症になると、肩や腰の高さが左右で違ったり、肋骨がこぶのように盛り上がったりします。症状が進むと、何もしていなくても腰が痛んだり、肺が押されて息苦しさを感じたりします。



## 特発性側弯症

原因がわからない側弯症です。多くは思春期に発症します。自然に治ることはなく、背骨が徐々に大きく曲がっていきます。体



操や牽引・リハビリによる改善は期待できません。症状が軽い場合は経過観察やコルセット治療で様子を見ますが、重い場合は将来への影響も考えて、手術を検討します。弯曲の大きい側弯は成長終了後も毎年わずかずつ進行し、将来的に重度の側弯症になってしまうからです。入院はおおよそ8~10日間程度です。



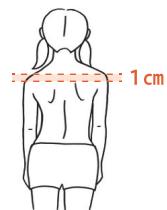
## 早期発見・早期治療

専門医による早期発見・早期治療が何よりも大切です。家庭でできる側弯症チェックを、毎年行いましょう。子どもは体が柔らかいため、左右差がわかりにくいですが、少しでも気になったら、すぐに整形外科にかかりましょう。

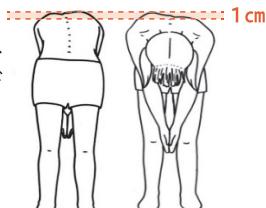


### 側弯症チェック

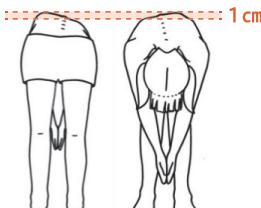
- ① 後ろ向きに気をつけの姿勢で肩の高さやウエストラインの高さが非対称(1cm以上)



- ② おじぎの姿勢で背中の高さが左右で違う(1cm以上)



- ③ 深いおじぎの姿勢で腰の高さが左右で違う(1cm以上)



# 腰曲がりを「年だから」とあきらめないで。

## 成人脊柱変形

おとなの脊柱側弯症・腰曲がりのことで、高齢化社会にともなって急速に増えている病気です。

背骨が曲がるため、腰痛が続いて日常生活に支障をきたしたり、体のバランスが崩れて転びやすくなったりします。



## 治療

症状が軽かったり日常生活で困っていないければ医師による運動療法や経過観察で十分です。しかし、重度の腰曲がりは必ず進行します。腰曲がりによる腰痛で、①～③のような症状に毎日悩んでいる方は手術による改善の可能性があります。腰曲がりは「年だから」ではなく「病気」であることを認識して下さい。「病気」であれば治療できる可能性があります。まずはご相談ください。

症状  
①

台所の仕事も、常にひじをどこかについていないとダメ



症状  
②

歩くとすぐに休んでしまう



症状  
③

支えがないと歩けない



# 適切な検査・診断・治療・リハビリで、 よりよい毎日を送りましょう。

イ オ ス  
**EOS**

2方向からの同時撮影で頭から足までの立体的な画像を作成できる検査機器です。立ったままの全身撮影で、発見が難しかった病気を見つけたり、脊柱一骨盤一下半身のバランスを確認できたりします。また放射線量がX線撮影の10分の1と低いのも特徴です。



## 近年の脊柱変形手術

以前より安全性・正確性・矯正率が飛躍的に増しています。背骨や腰に痛みや違和感を覚えたら、早めの受診をお勧めします。



背骨や腰曲がりで悩まれている方は  
ご相談ください。

作成年月：令和5年7月  
制 作：横浜市立脳卒中・神経脊椎センター  
電 話：045-753-2500  
監 修：山田 勝崇  
(整形外科部長)